

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	812	施策	公共施設の最適化
管理事業	財産管理事業	所管部局	都市計画部

1	所管室課	資産経営室	事業名	公有財産管理事業		
事業概要						
公有財産管理						
活動実績						
資産経営室で所管する普通財産の売払件数・面積及び有償貸付件数 ・普通財産売払件数・面積 令和2年度・・・4件、262.34㎡ 令和3年度・・・10件、1,129.12㎡ 令和4年度・・・4件、160.91㎡ ・普通財産有償貸付件数 令和2年度・・・22件 令和3年度・・・23件 令和4年度・・・23件		年度 決算額 (千円)	R2 49,147	R3 111,547	R4 24,160	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		一般財源の比率(%)	99.4	99.7	98.8	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 「吹田市公有地利活用の考え方」に基づき、普通財産の利活用を進めていくにあたり、普通財産に係る情報を整理し庁内で情報共有を図り、効率的に有効活用が出来るように取り組んでいく。また、担当職員の特長な知識・ノウハウを組織的に継承することが必要である。						
継続						

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度 決算額 (千円)	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		一般財源の比率(%)				
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度 決算額 (千円)	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		一般財源の比率(%)				
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	812	施策	公共施設の最適化
管理事業	資産経営事業	所管部局	都市計画部

1	所管室課	資産経営室	事業名	資産経営事業	
事業概要					
市有建築施設管理、公共施設最適化推進、固定資産台帳管理					
活動実績					
年度		R2	R3	R4	評価の視点
決算額(千円)		19,738	10,954	7,271	
一般財源の比率(%)		100.0	100.0	99.9	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		吹田市公共施設(一般建築物)個別施設計画に基づき、施設の老朽化対策や維持保全を進めるにあたり、膨大となる設計業務の負担軽減を実施しつつ、計画的な公共施設の維持管理等が推進されるよう、継続的に取り組んでいく必要がある。			今後の実施計画の方向性・内容
(1) 市有建築施設管理事業 技術職員の恒常的な時間外勤務の縮減を図るため、技術職員の担当業務のうち、技能的に高度な専門知識を必要としない、設計図面をCADによりデータ化する業務をCADオペレーターが担うことにより、業務の効率化を図った。 ・令和2年度・・・勤務時間 1,275時間 令和3年度・・・勤務時間 1,221時間 令和4年度・・・勤務時間 1,634時間 (2) 公共施設最適化推進事業 ・吹田市公共施設総合管理計画を通して情報を一元管理するとともに、吹田市公共施設(一般建築物)個別施設計画に基づき、対策等の進捗管理や実行支援を行った。 (3) 固定資産台帳管理事業 ・本市が所有する土地面積 行政財産 令和2年度・・・3,350,906.25㎡ 令和3年度・・・3,352,949.36㎡ 令和4年度・・・3,350,424.4㎡ 普通財産 令和2年度・・・135,852.78㎡ 令和3年度・・・135,851.68㎡ 令和4年度・・・140,710.12㎡		公会計財務諸表の固定資産データについては、今後は事業評価及び公共施設最適化の判断指標として活用していく取組が必要である。また、透明性を高め説明責任を果たすためホームページにて公表することを検討する。			継続

	所管室課		事業名		
事業概要					
活動実績					
年度		R2	R3	R4	評価の視点
決算額(千円)					
一般財源の比率(%)					<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					今後の実施計画の方向性・内容

	所管室課		事業名		
事業概要					
活動実績					
年度		R2	R3	R4	評価の視点
決算額(千円)					
一般財源の比率(%)					<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					今後の実施計画の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
資産経営室	土地開発基金繰出金事業		